



子どもの声に
耳を傾けて
みましょう

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境の中で育てられる。

朝食を食べない、テレビを長時間見る、午後10時以降に就寝するなどの子どもの基本的な生活習慣の乱れが増えています。

生涯脳重量の75%は、幼児期につくられます。

幼児期は、人間形成の基礎をつちかう、きわめて重要な時期といえます。

食育: 食べ物は、体だけでなく、心も育てます。

子どもたちは食べ物からも、親の愛情を感じ取ります。

- ・ 孤食(寂しく一人で食事をする)
- ・ 欠食(食事をしない)
- ・ 個食(家族でメニューが違う)
- ・ 固食(食べるメニューが固定している)



短気で忍耐力がなく、わがままな性格になる原因の1つとも言われています。気を付けましょう。



早寝早起き。
しっかり朝ご飯。
毎日元気。



静かな所で
眠りたいよ！
テレビやゲームに
夢中にならないで！
寝るときはそばに
いてね。

睡眠: 成長ホルモンはぐっすり眠っている間に出るそうです。たっぷり寝ない子や、寝る時間の遅い子は、脳の成長に影響が起きると考えられます。

一番大事な幼児期に、規則正しい生活を身につけましょう。

子どもの権利 みんな幸せに生きる権利をもっている
(家庭、地域、教育機関、公共機関など、みんなで支えていきましょう)

家庭は教育の出発点。親が偏見を持たず、差別をしない正しい人権意識をもちましょう。



子どもの権利条約(第27条)

子どもは、心やかならだのすこやかな成長に必要な生活を送る権利をもっています。親(保護者)はそのための第一の責任者です。



自分を大切に思う心を育てましょう!!

良いところをしっかり、ほめましょう。

認めてもらった実感や愛されている実感が、自分を大切に思う心を育てます。



- 見たり(視覚・目)
- 聞いたり(聴覚・耳)
- 嗅いだり(嗅覚・鼻)
- 味わったり(味覚・舌)
- 触ったり(触覚・皮膚)

五感をしっかり刺激してあげましょう!!

生きた感動を与えることによって、テレビゲームなどの世界は現実ではないことを伝えていきましょう。

